

身支度を整えて、6時50分遡行開始。二俣までは砂防ダム2つを越えて、10分  
足らずで到着する。ここで右俣のパーティと別れて左俣に入る。

左俣に入ると、すぐ砂防ダムとなり、それを乗  
り越えると、ナメが所々出てくるようになる。  
全体的にはさして変化もなく、滝は途中5m程の  
ナメ状のものが1つあるだけ。それもフリクショ  
ンをきかして、なんなく通過できる。

上流はナメが続き、勾配を増してゆく。源頭部  
のヤブは、それほど濃くない。15分程ヤブをこい  
で尾根に出る。

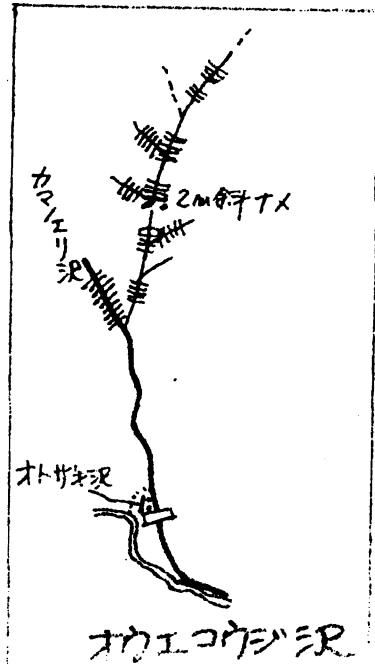
(記・

[タイム] 大沢出合(6:50)→二俣(7:00)→沢終了  
(7:50)→稜線(8:05)

### オウエコウジ沢

1986年7月27日

L



大沢左俣の遡行終了後、オウエコウジ沢の下降にかかる。尾根の南側は、北側  
と異なって、ヤブが非常に濃くなっている。西側にトラバースするような感じで、  
オウエコウジ沢の源頭に降り立つ。

沢は断続的にナメが現われるが、初めのうちはヤブがうるさく、歩きづらい。  
途中、何本かの枝沢が入るが、枝沢もすべてナメとなっている。

2m程のナメ状の小滝を過ぎ、枝沢を2本合わせると、カマノエリ沢の出合に  
着く。水量はカマノエリ沢の方が圧倒的に多い。オウエコウジ沢は多少伏流ぎみ  
に合流しているので、登ってきた時には、注意しないと出合を見過ごしそうな感  
じである。

カマノエリ沢を15分程下ると、大きな砂防ダムに行く手を阻まれる。乗り越え  
るには時間がかかりそうなので、オトザキ沢にかかる8mの滝の左岸を措き、砂  
防ダムわきの林道に出る。

(記・

[タイム] 下降開始(8:10)→沢(8:25)→カマノエリ沢出合(8:55)→オトザキ沢出  
合(9:10)→林道(9:15)